

# ここ20年間、茨城県が経験した災害

- 1999年9月：東海村JCO臨界中性子被ばく事故
- 2011年3月11日：東日本大震災
- 2012年5月6日：つくば市竜巻災害
  - ✓ 地元消防、DMAT要請を思いつかず（Drヘリ、Drカー先行）
  - ✓ 夕方16時ごろまで医療対策課担当に連絡取れず  
県庁当直者（別部署）は「DMATって何？」→現在は当番制に改善
- 2015年9月 関東・東北豪雨による常総地区水害
  - 水害地域で200名以上の救助が夜間になることが確定（17時30分時点の情報）
  - 「救助が夜間に及び、傷病者が発生したときにDMATがいなかったら・・・」→DMAT調整本部の設置決定
  - ➡\* 災害医療のスイッチオンが遅い
  - 【災害経験で危機管理能力・体制が進化した】**
- 2019年10月 台風19号水害(大子町水害)
- 2020年3月～ COVID-19県内陽性者

2013年11月1日付  
追加指定

◆基幹災害拠点病院  
国立病院機構  
水戸医療センター

◆地域災害拠点病院  
水戸済生会病院  
筑波大学附属病院  
西南医療センター

平成30年からの  
第6次医療整備計画

## 県内の災害医療強化



東日本大震災を踏まえ、県が災害時の医療体制を強化している。本年度、新たに災害拠点病院を4カ所指定し、計15病院を県内各地に配置した。いずれの病院も災害派遣医療チーム(DMAT)を擁して自家発電装置を備えるなど、災害時の医師派遣や被災者の受け入れ態勢を整備。県医療対策課では「被災者の受け入れとともに、医師派遣の面でも体制強化ができた」としている。

DMAT 自家発電配備

医師の派遣力向上

拠点に4病院追加

# 2015年9月台風18号に伴う

## 日本初の災害医療コーディネーター現場活動

### 関東・東北豪雨茨城常総水害活動経験から

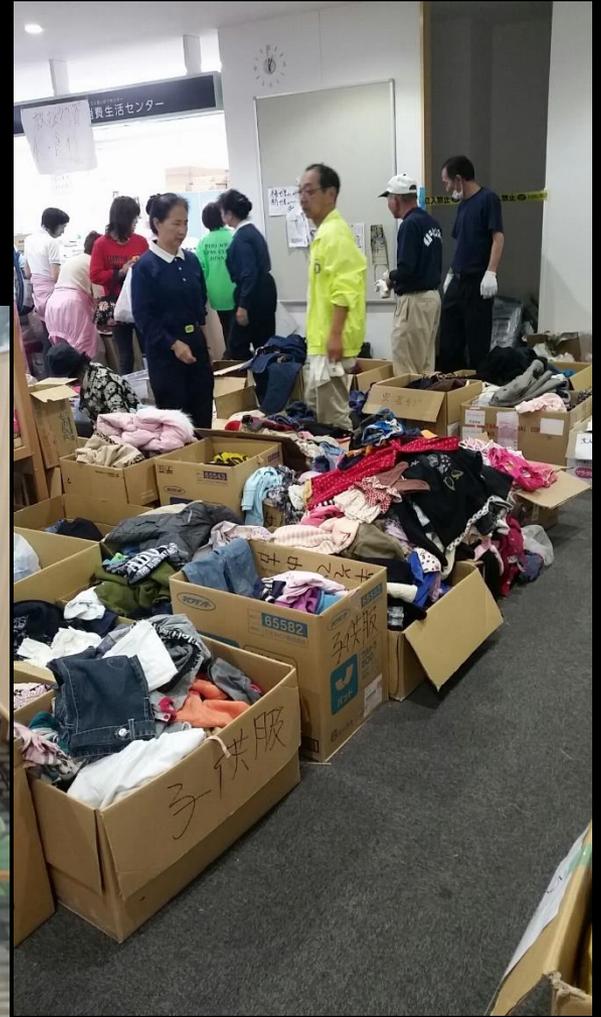


国立病院機構  
水戸医療センター  
茨城県災害医療  
統括コーディネーター

(2015年9月17日朝  
常総市役所)

9月17日・常総市役所の様子

支援物資を仕分ける人手がない！



# 2015常総水害・DMAT活動－9月10日（1日目）

茨城県大雨特別警報  
2015年9月10日  
午前7時45分

茨城DMAT待機要請  
2015年9月10日  
午前10時00分  
県災害対策本部設置

鬼怒川堤防決壊  
2015年9月10日  
午後0時50分

那珂川危険水域  
2015年9月10日  
午後2時00分

茨城県庁  
DMAT調整本部設置  
2015年9月10日  
午前6時00分

DMAT

県庁は県議会中・水戸は被害なし

鬼怒川危険水域  
2015年9月10日  
午前11時20分

NHO災害医療より  
水戸医療Cに  
茨城県庁入庁要請  
2015年9月10日  
午前11時13分

水戸医療Dr・茨城県庁入庁  
2015年9月10日  
午前11時37分

県庁DMAT調整本部  
水戸医療DMAT  
参集拠点  
TMC  
統括TMC-DMAT  
その後、那珂川氾濫  
水域警戒解除を待ち、  
県央地区DMAT南へ

# DMAT調整本部 in茨城県庁医療対策課14F



14F 医療対策課



医療対策課の一角



県庁医療対策課職員デスク



6F 災害対策本部

# 現地の災害医療調整本部(水害前線地域に設置)



# 災害医療調整本部(水害前線地域模式図)



# 各チーム本部帰還後、医療班活動報告会議(毎日午後6時から)



# 水戸医療センター救護班

避難所へ向かう 1 (越水した鬼怒川と水没している被災地建物)



派遣医療班撮影

# 水戸医療センター救護班 避難所へむかう 2(川のように水没した被災地幹線道路)



派遣医療班撮影

被災地上空(ドクターヘリ帰還途中・被災地上空に多くの報道ヘリ)



鬼怒川

小貝川

転院搬送ミッション終了後、基地病院帰還途中に演者撮影

# 避難所(被災地内の小学校体育館)



派遣医療班撮影

## 避難所活動：霞ヶ浦医療・水戸医療合同チーム



派遣医療班撮影

# 2016年熊本地震・災害支援

(The 2016 Kumamoto Earthquake)

2016年4月14日21時26分・マグニチュード6.5

2016年4月16日1時25分・マグニチュード7.3

熊本県熊本地方一震度7



独) 国立病院機構  
水戸医療センター  
救命救急センター

(2016年5月6日、益城町役場)

# 全国都道府県知事会から派遣要請・35班(2016年4月20日)

## 茨城県医療班

### ➤ 茨城県職員として派遣

1) 2016年4月21日茨城発、22日熊本着—28日帰還

→車両2台で陸路22時間(全国から36班)

県立中央病院+本庁職員計8名

2) 2016年4月28日熊本着—5月4日帰還

→空路で福岡へ、福岡—熊本間陸路

北茨城市民病院

### ➤ JMAT茨城として派遣(県庁→県医師会、5月27日に継続要請)

3) 2016年5月5日熊本着—5月8日帰還

→空路:茨城—福岡へ、福岡—熊本間陸路

国立病院機構 水戸医療センター

(チーム構成:医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務調整員1名)

4) 2016年5月8日熊本着—5月10日帰還

→空路:羽田—福岡へ、福岡—熊本間陸路

友愛記念病院

## 出発前情報(事務調整員から各隊員へ伝達・5月2日)

**参集場所:熊本県庁新館8階 環境生活部会議室**

**下記のいずれかに派遣予定(6・7日が活動となる)**

- ①熊本市役所、②御船保健所、③菊池保健所、④阿蘇保健所
- ⑤益城町

**\* 県中病院の活動:熊本市西区避難所のサーベイを実施**

**\* 北茨城市民病院の活動:益城町の避難所で解放している施設への入居案内などを実施**

☆医薬品:医療機関が再開しているので受診を案内。避難所で処方行為無し。  
熊本県薬剤師会等の活動で供給可能。

常総水害のように薬剤のチーム配分は無し(県医師会情報)

☆資器材:被災地内に充実しているので持参は最低限で可能(県医師会情報)

☆アクセス往路:茨城空港→福岡空港、復路:福岡空港→茨城空港

☆レンタカー:福岡空港で手配済み

☆宿泊先:佐賀県鳥栖市で手配済み

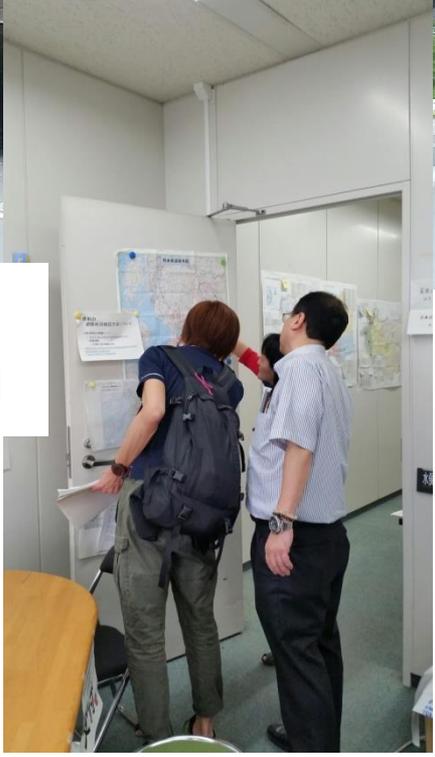
☆服装・靴:スクラブなど、国立病院ビブス着用

# 福岡空港—熊本県庁(2016年5月5日)

福岡空港で  
(活動を終え帰路につく  
仙台医療センター職員と)



熊本県庁  
入庁規制中



## 医療圏本部－2



- ・医療圏本部は保健福祉センターで避難所としても使われている  
(保健所管轄の建物)  
事務所(オープンスペース)を使用

### 改善点

- ・行き先決定に1時間30分待ち  
→次のチームには自ら行先を
- ・非常に長い会議  
参加人数>>部屋の広さ
- ・県庁と同様の書式を再び記入
- ・行き先決定は夕方であり、不案内な地域で日没近くに現地に行くように指示
- ・県庁で交通情報をもらえなかったため  
道に迷う  
(地元メンバーにしかわからない地名など)

# 市町村本部(益城町役場) - 3

益城町・保健師

熊本県

災害医療C・県

内閣府



# 避難所マップ (益城町医療調整本部から提供)



## 避難所・総合運動公園 テント村



- ・YMCAが設置し県市管理外
- ・ペットと一緒に避難
- 衛生面の問題などは  
現地内閣府本部にあずけた  
当方で結論出ず
- ・他に野口健さんの設置した  
避難所テントなど

# 避難所・被災地の小学校



・隠岐病院から  
→プライマリーケア  
連合会が今後関与  
・秋田大学医師  
とも期間中  
複数回の訪熊



・避難後3週間経過し、  
大部屋生活(学校教室)が限界  
→学校再開と避難所整理  
避難所環境調査と改善  
\* 予想通り保健公衆衛生  
・・・まだ保健師人員不足

# 新たな避難所・益城保健センター



- ・仮設トイレ確認
  - ・個人スペース整備  
などなど
- 被災地から求められる  
大工仕事など可能な限り  
様々な支援活動



# 避難所主任会議と 支援チーム担当計画

石川県



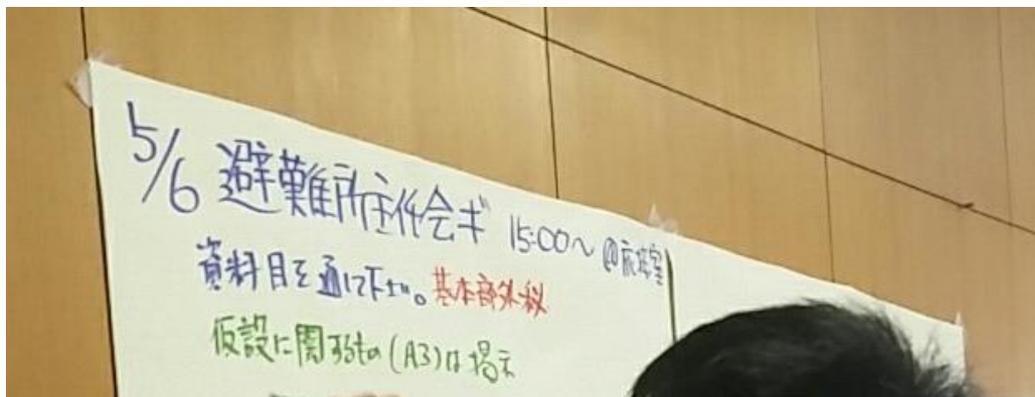
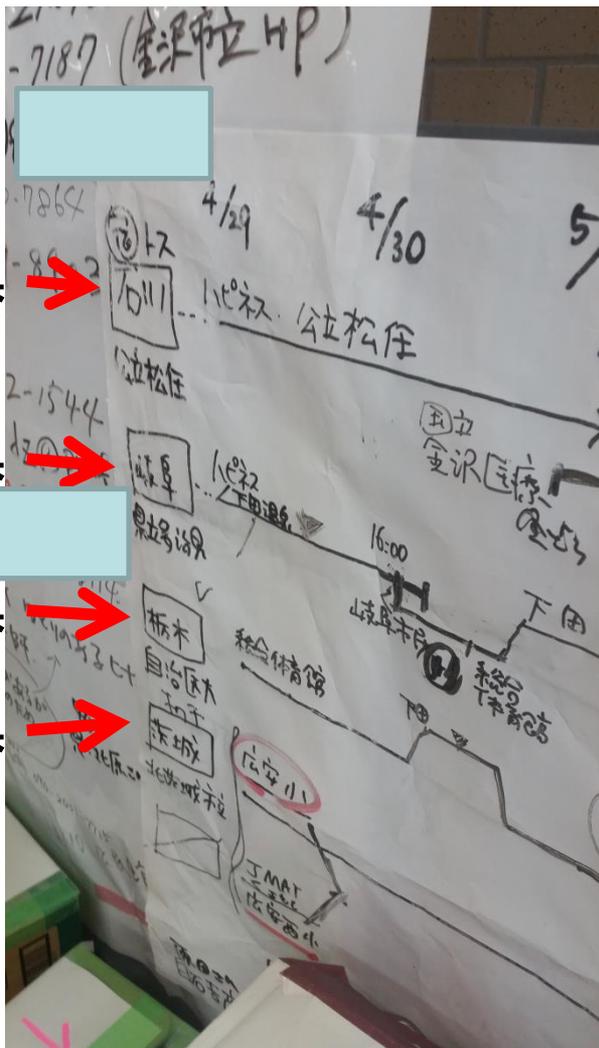
岐阜県



栃木県



茨城県



# 益城町の状況

人口3万4千人

→家屋全壊約1000戸

半壊以上約4000戸

避難者約5-6千人



# 益城町(町役場前)



# 益城町町内



# 益城町町内



# 2016熊本災害支援 JMAT茨城(水戸医療センター一班)と茨城DPAT



## 2019年 水戸医療センター災害実働

### ➤ 台風15号

- ・県庁災害医療コーディネーター、  
DMAT調整本部に職員派遣(9月9日)
- ・千葉県へDMAT(水戸医療センター隊)派遣

### ➤ 台風19号とその後の豪雨被害

- ・県庁災害医療コーディネーター派遣(災害対策本部活動期間中)
- ・県庁保健福祉部内災害医療調整本部設置(10月13日)
- ・県庁災対本部航空(ヘリ)調整本部へ医師派遣(10月13日・14日)
- ・大子町(久保田病院)透析患者転院搬送に対して  
水戸医療センタードクターカー派遣(10月14日)
- ・大子町救護所へJMAT茨城水戸医療チーム派遣(10月21日)
- ・常陸大宮済生会病院へ支援医師派遣(10月30日)

10月13日、那珂川河口付近



10月21日、大子町救護所



10月14日、大子町内



20200701 茨城県ドクターヘリ運航10周年  
BK117 C-2とドクターヘリMMCフライトチーム